

1 町の名譽をかけ力走

「第15回 ふくしま駅伝」

県内83市町村が参加して行なわれた第15回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会「ふくしま駅伝」は、11月16日(日)、白河市から福島市まで16区間95・3kmのコースで開催されました。

当日は、あいにく肌寒い天気でした。

が、本町チームのランナーは全員すばらしい走りを見せました。中でも、11区を走った円谷美紀さんと15区を走った小松仁美さんは、区間賞を獲得するなど健闘しました。結果、総合で16位、町の部では7年連続入賞となる8位入賞を果たしました。

また同日、午後6時から鏡石館において、ふくしま駅伝選手団解団式が開催されました。



大健闘の町選手団のみなさん

式では、佐藤靖弘監督から、「みなさんのサポートによりすばらしい成績を修めることができました。」とあいさつがありました。続いて、木賊町長、木原秀男副議長などから労いの言葉があり、最後に町旗が、斎田一男団長から木賊町長に返還され式を閉じました。選手団のみなさん、お疲れさまでした。そして、たくさんの感謝をありがとうございました。

2 4組のカップルが誕生

「ふれあいの集い」

町後継者結婚相談所主催による「ふれあいの集い」が、11月2日、3日の両日、町と天栄村の羽鳥湖高原レジャーの森で開催されました。町内後継者花嫁対策の一環で、今年は、町内の独身男性10名と県内外の独身女性10名が参加しました。

1日目は、木工教室、バーベキューパーティーやキャンプファイヤーなどを行い、2日目は蕎麦打ち体験や高久田地区の果樹園でりんご狩りを楽しみました。この2日間の交流で見事に4組のカップルが誕生しました。



りんご狩りを楽しむ参加者

3 つかいサツマイモ収穫

「鏡石幼稚園」

鏡石幼稚園では、11月4日(火)、午前9時から、園児の保護者の古川文雄さん(南町)の畑でサツマイモの収穫を体験しました。

当日は、保護者の古川さんのご好意で畑を開放してもらい、快晴の下、園児104名が泥だらけになりながら、サツマイモを掘り出しました。サツマイモの中には、園児の顔ほどに成長したのもあり、その大きさに驚いていました。収穫したサツマイモは、お土産に自宅に持ち帰りました。



大喜びでサツマイモを掘る園児

4 多くの白鳥が飛来

「白鳥の餌贈呈式/表彰式」

11月17日(月)、高野池で白鳥の餌贈呈式が行われました。

当日は、5地区のライオンズクラブ(須賀川、須賀川中央、いわせオリオン、鏡石、矢吹ライオンズ)会長から町観光協会会長の木賊町長に、くず米と購入資金が寄贈されました。続いて、木賊町長から各クラブに感謝状が贈呈されました。

なお、高野池では今年も飛来した白鳥への餌を募集しています。詳しくは、町産業課 62-2118(まで)まで問い合わせください。



白鳥の餌を受け取る木賊町長

6 秋元貴亜樹君と慶めぐみさん入選

「税に関する作文コンクール」

税について正しい知識を養い、関心を高めることを目的に中学生を対象に「税に関する作文コンクール」が県主催で行われ、県内130校の中学校から5,294編の応募がありました。

鏡石中からは、秋元貴亜樹君(3年)が福島県中地方振興局長賞、慶めぐみさん(3年)が須賀川税務署長賞を受賞し、11月14日(金)に伝達式が行われました。高橋常章県税部長、大槻慎一須賀川税務署長が同校を訪れ、お二人に表彰状と記念品を手渡しました。



表彰を受けた秋元さん(左から2番目)と慶めぐみさん(右から2番目)

5 会場全体が笑いで溢れる

「町文化講演会」

11月20日(木)、午後6時30分から町公民館において、文化講演会が開催されました。

当日は、会場いっぱい約500名の観客が集まり、ウクレレ漫談でおなじみの牧伸二さんを講師に迎え、「お笑いこそが健康への近道」という演題で講演が行われました。

自分の入院時の話しなどを、ウクレレの音色にあわせながら、おもしろおかしく語った軽快なトークに、観衆からは大歓声がありました。



健康の秘訣を語る牧伸二さん

7 現代の名工の功績を讃える

「県技能フェスティバル表彰式」

優れた技能を持つ方や、技術者の養成等に功績があった方に、県が表彰する平成15年度福島県技能者表彰式が11月20日(木)、杉妻会館において行われました。

当町からは、長年、型わく工として活躍してきた橋本俊雄さん(旭町)が福島県卓越技能者知事表彰を、また村上静代さん(旭町)が職業能力開発事業功労者として福島県知事感謝状を、荒川秀雄さん(不時沼)が認定職業訓練功労者として福島県職業能力開発協会会長表彰を受賞されました。



受賞を喜ぶ橋本さん御夫妻